

第12回災害対策本部での知事の主な発言

- 今朝も強い地震が発生した。県民の皆さまにおかれては、自分の身を守ることを第一に行動して欲しい。
- 本日8時時点で、お亡くなりになった方は、98人となった。未曾有の大災害であり、自治体や被災者への手厚い財政支援が不可欠であることから、国には、速やかな激甚災害、本激の指定と、被災者の生活再建のため、さまざまな行政手続の簡素化・特例措置が図られる特定非常災害の指定を強く要望したい。
- 水道や電気は、復旧に時間がかかり、特に奥能登6市町の水道の復旧の目途がたっていない。長期間に渡ることから、全国の皆さまからの作業の支援を早急に求めるとともに、避難所の運営、2次避難所、仮設住宅の設置については、水道のことも踏まえて、対応していく。

2次避難所としての被災地以外の旅館・ホテルの活用について、準備を進めている。さらにその前段階として、一旦、暖房や水・トイレのある「いしかわ総合スポーツセンター」に1.5次避難所として、避難者を収容することとしている。

今般、白山市からは屋内で使用する避難所テント250セット、金沢市からは間仕切りやマットを提供いただけることとなり、明日17時から資機材を搬入することとし、明後日にも被災者の受入れを開始できないかと、準備を加速させている。

既に、内閣府の職員が本県に派遣され、バックアップい

ただいております、感謝申し上げます。

- 本日午後から明後日にかけて、警報級の雨・雪となる可能性がある。細心の注意を払い、被災地のニーズに寄り添い、国、県、市町、民間団体、NPO団体、関係機関と連携してプッシュ型で対応して欲しい。
- 特に、孤立集落、あるいは要支援集落がまだまだ多いことから、継続的に必要な支援をお願いしたい。
- 本日から3連休に入った。能登方面へ向かう道路は、深刻な渋滞が発生し、救助・救援活動や物資の搬送に大きな支障を来している。個人的なボランティアや不要不急の用事で能登に入ることは厳に控えていただきたい。

明日からの県立看護大ICでの一般車両の通行止めに関し、何卒、ご理解とご協力をお願いしたい。マスコミの皆さんにも周知に協力いただきたい。

- 県民、特に被災者の皆さまに対しては、積極的に、分かりやすい情報提供を、是非お願いしたい。
- ペットも被災者であるので、配慮をお願いしたい。
- 被災地の火葬場は厳しい状況、県内の葬祭場の皆さまにはご協力をお願いしたい。ご遺体の移送については、敬意を持ってお願いしたい。
- 小中高等学校の3学期について、被災地において実施可能か教育委員会に再度確認をお願いしたい。
大学受験について、被災地からの移動は困難であることから、前泊や交通費などの経費の支援を最大限配慮したい。